

台風26号の痛ましい被害、サービス付き高齢者用住宅、季節が忙しい
(2013.11.1)

先月に発生した台風26号による伊豆大島の土石流災害は、本当に痛ましい出来事でした。真夜中に襲われた形で、一番安心できるはずの自宅で就寝中に発生したものですから、住民にとってはどうしようもないことですよ。

火山灰で形成された地形を考えれば、`もう少し、何とかできなかったのか？`との悔やみが大きく残る結果になった様です。

地球の温暖化を含めた環境破壊も一因になっているのだと思っております。

どのような理由であっても、掛け替えのない人命が無残に奪われるのだけは避けたいものです。

高齢者に対する新しい住居として、国が推し進めている `サービス付き高齢者用住宅`の限界が見えてきているようです。

一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるようにという配慮から、介護サービス付きの住まいを用意したのですが、介護の内容があまりにも大雑把で、安心して住めないとの意見が多く、実際に入居が敬遠されて、入居率が2割くらいになっている施設もあるとのこと。

都会での話ではあるのですが、安易に補助金を出して箱物を作らせ、挙句の果ては空き家ではお金の無駄使いですね。

つい昨日まで暑い暑いと冷房機を使用していたのに、今日からは寒い寒いと暖房機を動かすというように、季節が忙しくなっているようです。

大きな天災に見舞われない当地ですので、それくらいは我慢かとも考えますが、そこはやはり生身の人間ですね。

風邪引きさんが多くなっているようです。

日中はそれなりに温かいので、知らず知らずに陥ってしまうのかもしれませんが。

疲れ過ぎや睡眠不足など気を付ければ風邪とは無縁のところを過ごせるとされます。

今年もあと二ヶ月足らずです。

体調を整えて、インフルエンザなどには絶縁状を示し、雪の冬を何とか楽しみながら過ごしましょう。

先には春が必ず見えてきますから・・・・・・・・。